



カムリウミスズメ

ふれあい

平成21年3月 NO10
発行 門川町教育研究所
所長 斉藤 義輝
TEL 63-1566

門川町教育研究所では、子ども一人一人の確かな学力の向上をめざして、今年度1年間、教育研究や情報発信を行ってきました。この最後の「ふれあい」では、教育研究所がまとめた「支援アイデア集」から、子どものいろいろな実態に応じて、家庭や学校でできる子育てや支援の工夫を紹介したいと思います。是非、お役立てください。

家庭や学校でできる子育ての工夫

聞くことが苦手な子への支援

よく見られる行動や事例

話に集中できない。
手遊びやよそ見をしている。
視線が合わず、そわそわする。

支援や指導のポイント

正面から目を見ながら、低く、はっきり、ゆっくり話しましょう。指示する内容は、短くしましょう。伝わったかどうか、復唱させましょう。できたらすぐにほめて、励ましましょう。

子どもは、毎日の生活や学習で、いろいろな困難を感じています。周囲の大人はこれを十分理解して、子どもを支援しなければなりません。

話すことが苦手な子への支援

よく見られる行動や事例

聞かれても答えられない。
言いたいことがうまく言えない。
筋道を立てて話せない。

聞き上手な大人になりましょう！

支援や指導のポイント

話に耳を傾けましょう。考え、答える時間のゆとりを持たせましょう。声が小さくても、言えたことをほめて認めましょう。どんなことでも言える雰囲気をつくりましょう。



読むことが苦手な子への支援

よく見られる行動や事例

読み方がたどたどしい。
行をとばす、同じところを読む。
読めても理解が難しい。

読書ひゃっぺんが大切ですよ！

支援や指導のポイント

単語や文のまとまりに印をつけて読ませましょう。間違いやすいところに印をつけましょう。短い文章から読む練習をさせましょう。好きなところを読ませましょう。



書くことが苦手な子への支援

よく見られる行動や事例

書き順が覚えられない。
ノートがとれない。
似た字を間違える。

挨拶は、手偏に
ム・矢・く・夕だ！

支援や指導のポイント

大きな紙に、字を大きく書かせましょう。指やえん筆でなぞらせましょう。書き順を唱えながら書かせましょう。文字を形に分解して、覚えさせましょう。

計算することが苦手な子への支援

かけ算は、四の段と七の段の言い間違いが多いよ！

$$\begin{array}{r} 12 \\ \times 34 \\ \hline 408 \end{array}$$



よく見られる行動や事例

計算に間違いが多い。
九九が覚えられない。
計算に時間がかかる。

支援や指導のポイント

おはじきなどの具体物で計算させましょう。
10の分解・合成を素早く言わせましょう。
唱えて、書いて、九九を覚えさせましょう。
生活の中で、数字や計算に慣れさせましょう。

整理整頓が苦手な子への支援

片づけができた時にはほめてください！



よく見られる行動や事例

いつもさがし物をする。
いる物、いらない物が区別できない。
まわりが片づかない。

支援や指導のポイント

置き場所に目印をつけさせましょう。
片付けのための時間をもうけましょう。
広い収納場所をつくりましょう。
片づけができたときには、しっかりほめましょう。

忘れ物が多い子への支援

まず準備をしてから遊ばせましょう！



よく見られる行動や事例

よく忘れ物をする。
物をよく無くす。
持ち物をよく置き忘れる。

支援や指導のポイント

自分の持ち物に印を付けさせましょう。
メモをとったり、見たりする習慣をつけさせましょう。
前日に準備する時間をつくりましょう。
置くところを決めさせましょう。

教育研究所からのメッセージ

子どもたちの実態にあった支援をすることは、大人の役割です。そして、その支援にはちょっとしたコツがあります。このコツさえ知っていれば、大きなトラブルや失敗につながることはありません。家庭での子育てや学校での指導が楽しくなります。子どもがすくすく育ちます。

子どもを支援する基本

子どもに分かりやすく教えましょう。
子どもとともに考え、解決するようにしましょう。
子どもの記憶に残るように教えましょう。
子どもの困っていることに合わせた支援をしましょう。
子どものがんばりを認め、励ましましょう。
少しずつできるようになることを大切にしましょう。



くわしい情報は、
門川町のホームページ（教育研究所）
にあります。是非、見
てください。

お父さん・お母さん子育てで悩んでいませんか？

困った時、迷った時は、
教育相談室に気軽に電話をしてください。

相談電話（門川町教育相談室）
63 - 1566